

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(1)	選択式	2分	易

問題 (1)

資料1 A町の総人口の推移

年齢	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-14歳	2,652	2,338	2,145	1,827	1,538
15-64歳	13,107	12,322	11,355	9,788	8,766
65歳以上	4,198	4,543	4,780	5,149	5,225
<b>総人口</b>	<b>20,057</b>	<b>19,203</b>	<b>18,280</b>	<b>16,764</b>	<b>15,529</b>

※ スクロールして、すべての資料を確認してください。

資料1, 2から読み取ることができる伝統あるA町祭りの抱える課題について、未来さんは次のようにまとめました。  
 <未来さんのまとめ>の(ア)~(ウ)に入る適切な語句を下の<選択肢>a~dより選びましょう。

<未来さんのまとめ>  
 A町の人口は年々(ア)していて、65歳以上の高齢者の割合が(イ)しています。若い年代の人は、祭りに参加した経験や、観た経験も(ウ)ことに課題があることがわかりました。

<選択肢>  
 a 増加 b 減少 c 多い d 少ない

ア

イ

ウ

伝統的なA町祭りの担い手が減ってしまうことで、祭りを続けることができなくなってしまうかもしれません。A町祭りに向け、私たちも何かできないかな。

<出題のねらい>

グラフから総人口の情報、新聞記事から伝統的な祭りに参加する人の情報等を適切に読み取ることができるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもつ、課題を明確にする

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

グラフの読み取りが不十分ならば、グラフから読み取った情報を自分の言葉でまとめさせるような課題を授業内で行っていくと良いでしょう。記事の読み取りが不十分ならば、文章から事実の部分に線を引かせる等をするとい良いでしょう。



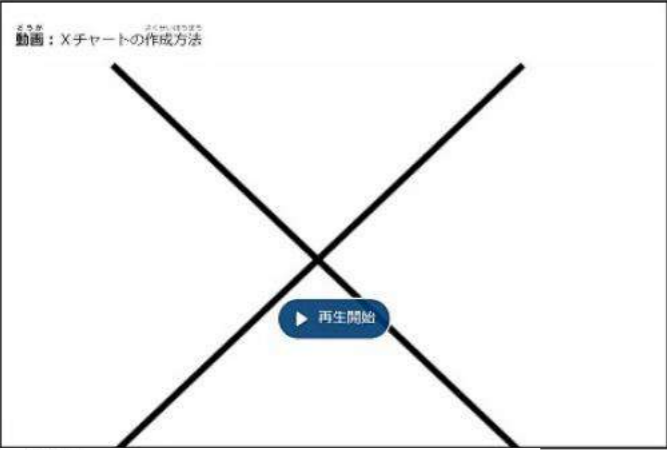
<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	ア:○ イ:○ ウ:○	ア:b イ:a ウ:d
2	ア・イ:x ウ:○	ウ:d ア、イは不正解
3	ア・イ:○ ウ:x	ア:b イ:a ウは不正解
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
グラフ・新聞記事から適切に情報を読み取ることができています。今後も引き続き、グラフや説明文等から内容が読み取れるよう意識していきましょう。
新聞記事から情報を読み取ることができている一方でグラフの読み取りが十分ではありません。普段から意識的にグラフから読み取れることを考えるなどしましょう。普段から意識的にグラフから読み取れることを考えるなどしましょう。
グラフから情報を読み取ることができている一方で、新聞記事の読み取りが十分ではありません。普段から説明文等から内容が読み取れるよう意識しましょう。
普段から、グラフや説明文等から情報を読み取れるように意識しましょう。
普段から、グラフや説明文等から情報を読み取れるように意識しましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(2) ①	選択式・短答式	3分	普通

**動画：Xチャートの作成方法**



**問題 (2) ①**

資料4は、作成途中のXチャートです。左の動画：Xチャートの作成方法を視聴し、どのようにXチャートを作成しているかを読み取り、あなたが資料4の【エ】の部分に入れると考えられる意見を、資料3のa～hからすべて選びましょう。

また、【エ】に5字以内の適切な言葉を入れましょう。

**<解答欄>**

資料4の【エ】の部分に入れる意見

<input type="checkbox"/> a 大人数で作りたい	<input type="checkbox"/> e 招待状を作って配布したい
<input type="checkbox"/> b 「A可譲り」を残したい	<input type="checkbox"/> f うちわ、下駄、着物
<input type="checkbox"/> c お囃子	<input type="checkbox"/> g 落とし物 預り所があるといい
<input type="checkbox"/> d 吹奏楽や劇、ダンスなどの発表	<input type="checkbox"/> h 特典 (祭りに行く土産)

資料4の【エ】に入る言葉

【エ】

<出題のねらい>

Xチャートから、多面的に情報を読み取って適切な選択肢を選択し、関連づけ、適切な言葉で表現できるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…情報を収集し調べる

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

アンケート結果を整理し、わかりやすくするための方法の一つが思考ツールです。資料の要点をまとめる練習をする中で、Xチャートやフィッシュボーン図、くらげチャート等の思考ツールを活用し、適切に判断する場面を設定してみましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ (エ) に入る意見 a, d, h を正しく選択し、(エ) に「企画」や「イベント」などの様々な催し物を一般化した言葉を解答することができている。	企画、イベント、もよおし物、大会
2	(エ) に入る意見 a, d, h は正しく選択できているが、(エ) に「企画」や「イベント」などの様々な催し物を一般化した言葉を解答することができていない。	行事 (恒例)、娯楽、発表、思い出、お楽しみ
3	(エ) に入る意見 a, d, h は正しく選択できていないが、(エ) に「企画」や「イベント」などの様々な催し物を一般化した言葉を解答することができている。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
アンケート調査で出てきた意見の共通点に気づき、適切な言葉で表現することができています。また、それをもとに、情報を整理し、適切な選択肢も選択できています。今後も「共通点を見いだす」ことを意識して、資料を見ていきましょう。
アンケート調査をもとに要点を整理し、適切に選択肢を選択できていますが、それらに関連づけて、適切な言葉で表現できていません。解答となる選択肢の共通点から、適切な言葉を考えてみましょう。
アンケート調査をもとに要点を整理し、それらに関連づけて適切な言葉で表現できています。しかし、適切な選択肢を十分に選択できていません。解答となる選択肢の共通点を考えてみましょう。
アンケート調査から、解答となる選択肢に共通することは何か考えてみましょう。
アンケート調査から共通点を見いだすことで、資料の内容が見えてきます。「共通点を見いだす」ことを意識して、考えてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(2) ②	選択式	2分	易

資料5 「A町祭りで実際に取り組みたいこと」調査のまとめ

第1希望	第2希望	希望している数
地元の食材の販売	大人数で作りたい	9
	みんなでA町の新記録を作りたい	4
	「A町踊り」を残したい	3
大人数で作りたい	金魚すくいやくじ引きなど	3
「A町踊り」を残したい	山車・神輿	3
綿あめやチョコバナナなど	みんなでA町の新記録を作りたい	3
	「A町踊り」を残したい	3
みんなでA町の新記録を作りたい	会場マップ・ポスター作り	2

資料5から、多数決で考えると、(オ)を最も多く希望しているの  
で、私たちの希望は、(オ)とい  
うことで良いですね。



問題 (2) ②

右上の未来さんの発言について、(オ)に当てはまるものを、下の<選択肢>より並びドラッグ&ドロップしましょう。

【解答方法】ドラッグするか、左のカードを選んだあとに移動先のわく( )を遊ぶと、カードが移動します。もとに戻すときは [X] ボタンで戻します。

<選択肢>

地元の食材の販売、大人数で作りたい、綿あめやチョコバナナなど、みんなでA町の新記録を作りたい、金魚すくいやくじ引きなど、山車・神輿、会場マップ・ポスター作り、「A町踊り」を残したい

(オ)



<出題のねらい>

資料5の表の特徴をとらえ、多数決で一番多かった意見を読み取れているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…情報を収集し調べる

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

「多数決の原理」は、学校生活の中で活用される場面が多いです。多数決をとると、生徒がどんなことを希望しているのかがよくわかります。調査のまとめをもとに、自分はどのような意見をもつか想像させながら、読みとる視点を養っていきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 第1希望で最も多くの意見があった「地元の食材の販売」を正しく選択できている。	地元の食材の販売
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
「多数決の原理」をもとに、最も多く希望している意見を読み取ることができています。
「多数決の原理」では、最も希望の多い意見を採用することになります。そのため、「資料5」では、「地元の食材の販売」が最も多い意見になります。
「多数決の原理」では、最も希望の多い意見を採用することになります。そのため、「資料5」では、「地元の食材の販売」が最も多い意見になります。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(2) ③	選択式	2分	易

資料5 「A町祭り」で実際に取り組みたいこと」調査のまとめ

第1希望	第2希望	希望している数
地元産の食材の販売	大人気で作り上げたい	9
	みんなでA町の新記録を作りたい	4
	「A町踊り」を残したい	3
大人気で作り上げたい	金魚すくいやくじ引きなど	3
「A町踊り」を残したい	山車・神輿	3
綿あめやチョコバナナなど	みんなでA町の新記録を作りたい	3
	「A町踊り」を残したい	3
みんなでA町の新記録を作りたい	会場マップ・ポスター作り	2

資料5から、多数決で考えると、(オ)を最も多く希望しているので、私たちの希望は、(オ)ということが良いですね。

第1希望の多数決で決めるのではなく、全員の意見を大切にしたいよね。資料5の結果の(カ)、(キ)、(ク)を合わせて「1000人盛り上げたい」という、全員の第1希望、第2希望どちらかの希望が入る企画を提案します!!

問題 (2) ③

右上のしんさんの発言について、(カ)～(ク)に当てはまるものを、下の「選択肢」より選びドラッグ&ドロップしましょう。

【解答方法】ドラッグするか、左のカードを選んだあとに移動元のわくを指すと、カードが移動します。もとに戻すときは「戻る」ボタンを押します。

「選択肢」

地元産の食材の販売	大人気で作り上げたい	綿あめやチョコバナナなど	みんなでA町の新記録を作りたい	金魚すくいやくじ引きなど	山車・神輿	会場マップ・ポスター作り	「A町踊り」を残したい
-----------	------------	--------------	-----------------	--------------	-------	--------------	-------------

(カ)  (キ)  (ク)

＜出題のねらい＞

しんさんの意見から、より多くの人の意見を反映させる意図を読み取り、資料の情報を適切に選択できるかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「自分で取り組む」…解決の見通しをもつ、思いや考えを基に創造する

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

学校生活で「多数決の原理」は、さまざまな場面で活用されます。その中で、少数意見を尊重することも大切です。「第一希望は～ですね。その他にも～な意見もありますよ。」と生徒に提示し、考える時間を設定してみましょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	キ、ク、ケに「大人気で作り上げたい」「みんなでA町の新記録を作りたい」「A町踊り」を残したい」を選択できている (順不同)	大人気で作り上げたい みんなでA町の新記録を作りたい 「A町踊り」を残したい
2	キ、ク、ケのうち、2つを正しく選択できている。	
3	キ、ク、ケのうち、1つを正しく選択できている。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
しんさんの考えをもとに、より多くの人の意見を反映させるためにはどうすべきか考え、資料の情報を適切に選択することができています。
しんさんの考えをもとに、より多くの人の意見を反映させるためにはどうすべきか考え、資料の情報を適切に選択することができていません。資料の情報を適切に選択する観点を明確にして、読み取る力をつけていきましょう。
しんさんの考えと資料を結びつけて、選択肢を考えてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(3) ①	短答式	3分	易

未来さんたちは、「1000人盆踊り」について具体的な計画案を考えることにしました。

**未来**

「1000人盆踊り」、楽しそうな企画ですね。

**まなぶ**

「1000人盆踊り」、会場の広さ等についても考えないといけませんね。

**まな**

1000人で盆踊りを踊る場合について、計算しました。

右の図のように、全員が1つの円になって踊るとして、踊る人の間隔を右の図のように1.5mとすると、円の直径が、約  m になります。A町にはそんな広い場所はありませんよ。

盆踊りを踊る人の輪

やぐら

※やぐら：祭礼・盆踊りなどで、一段高くつくって太鼓や笛を演奏したり歌をうたったりする構造物のこと。

**問題 (3) ①**

1000人で盆踊りを踊る場合、盆踊りを踊る人たちの円の直径は約何mですか。  m に入る数を答えましょう。

ただし、盆踊りを踊る人の間隔は1.5m、円周率は3.14として計算し、小数第1位を四捨五入して整数で答えることとします。ただし、踊る人の間隔とは、円周(円弧)上の長さのこととします。

<解答欄>

ケ:  m

<出題のねらい>

問題場面を想定し、公式を活用して、円の直径を求めることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…新たな考えに気付く

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

円の直径を求める学習は、小学校からの系統的なつながりがあります。生徒がどこでつまづいているかを見極めて、公式を正しく理解できるようにしましょう。また、生徒自ら生活場面から問題の素材を見つけて、様々な問題を解くとよいでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 2πr = 1500 2r = 1500 ÷ 3.14 = 477.70... 小数第一位を四捨五入	478
2	2πr = 1500 2r = 1500 ÷ 3.14 = 477.70... 小数第一位の四捨五入ができていない	477
3	2πr = 1500 2r = 1500 ÷ 3.14 = 477.70... 小数第一位の意味が分かっていない	480 (一の位) 477.7 (小数第二位)
4	半径を直径に直し忘れている r = 1500 ÷ 3.14 ÷ 2 = 238.85...	239
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
円周の公式を用いて計算することができています。また、適切な位を四捨五入し、値を求めることができています。今後も問題をよく読み、導き出した答えをよく確認することを継続しましょう。
円周の公式を用いて計算することができていますが、四捨五入を忘れてしまっているようです。問われている条件等をよく確認して答えましょう。
円周の公式を用いて計算することができていますが、四捨五入する位を間違えてしまっているようです。「小数第一位」の意味等、問われている言葉の意味を再度確認しましょう。
円周の公式の直径と半径を間違えてしまっているようです。円周や面積の公式で扱う円の「直径」、「半径」等の言葉の意味を再度確認しましょう。
計算の問題に苦手意識をもたずに、円周や面積の公式で扱う円の「直径」、「半径」、「四捨五入」等の言葉の意味を再度確認し、できるところから取り組んでいきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(3) ②	選択式	3分	普通

問題 (3) ②

まなぶ  
 踊る人の円を右の図のように4重にした場合、1番内側の円の●が左(反時計)回りに踊り始めて1周したとき、200人の円の人★はどこにいますか。下のa~dの中から1つ選びましょう。ただし、どちらの円も踊る人の間隔は1.5m、左(反時計)回りに踊り、回る速さは同じものとし、図中の●、★はスタートのときの位置を示しているものとします。

<解答欄>

a

b

c

d

<出題のねらい>

100人の円の人が踊り始めて1周したとき、半径が2倍の200人の円の人が半周することを理解しているかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…新たな考えに気付く

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

円に関する公式を把握させ、問題演習を繰り返し、公式を活用できるように図りましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 100人の円と、200人の円の円周の違いを把握できている。	c
2	100人の円と、200人の円の円周の違いを把握できてない。	a
3	100人の円と、200人の円の円周の違いを把握できてない。	b
4	100人の円と、200人の円の円周の違いを把握できてない。	d
0	無解答	—

個票への記述
100人の円の人●が踊り始めて1周したとき、半径が2倍である大きさの200人の円の人★が半周することを正しく選べました。1つの円において、円周の長さが半径の長さに比例していることでしょうか。身の回りには比例関係の場面が多くあるので、ぜひ探してみてください。
100人の円の人●が踊り始めて1周したとき、200人の円の人★が半周することを正しく選ぶことができませんでした。200人の円の円周の長さは、100人のときの2倍であることを計算で確認してみてください。ある場面が比例関係にあるかどうかを確かめる手立てを身につけられると良いでしょう。
踊る人数によって、円周の長さや半径の長さがどうなるかに注目したり、比例関係にあるかどうかを確かめたりすることで、問題を解決できることがあるので挑戦してみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(3) ③	選択式	7分	難

問題 (3) ③

しん  
 踊る人の円を4重にし、30分間の踊りを経たとき、●、★、▲、■が右の図のように並ぶようにしたいと考えています。200人の円の●、300人の円の▲、400人の円の■はそれぞれの円のどの位置からスタートすればよいですか。下のa~iの中から1つ選びましょう。ただし、1番内側の円の●の人が1周踊るのに要する時間は10分間とします。また、どの円も踊る人の間隔は1.5m、左(反時計)回りに踊り、回る速さは同じものとします。

解答欄

a  b  
 c  d  
 e  f  
 g  h  
 i

<出題のねらい>

すべての円の人が、30分間で動く距離を理解し、時間をさかのぼったときの位置を理解できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…友達と互いに学び合う

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

これまで学んできたことから、この問題を解決するための方法を選択し、適切に活用していく場面を、授業内でも意識して設定してみましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ それぞれの円の円周の差、30分間の全体の時間、100人の円の1周10分という様々な条件を整理し、正答を導くことができている。★、▲、■：○	e
2	★：○ ▲：○ ■：×	
3	★：○ ▲：× ■：○	
4	★：× ▲：○ ■：○	
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
すべての円の人が、30分間で動く距離を理解し、時間をさかのぼったときの位置を理解しています。
それぞれの円の円周の関係を整理しましょう。400人の円周は、100人の円周の4倍になります。よって、100人の円の●が3周する間に、400人の円の■は3/4周します。
それぞれの円の円周の関係を整理しましょう。300人の円周は、100人の円周の3倍になります。よって、100人の円の●が3周する間に、300人の円の▲は3÷3=1周します。
それぞれの円の円周の関係を整理しましょう。200人の円周は、100人の円周の2倍になります。よって、100人の円の●が3周する間に、200人の円の★は3÷2=1.5周します。
計算の問題に苦手意識をもたずに、円周や面積の公式で扱う円の「直径」、「半径」、「四捨五入」等の言葉の意味を再度確認し、できるところから取り組んでいきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(4) ①	短答式	2分	普通

資料7 未来さんの発表メモ案 (変更後)

目次	内容	スライド	時間
1) テーマの発表	中学生の参加を増やして、A町祭りを盛り上げるためにできること	1	1分
2) 企画の発表	企画：1000人盆踊り	なし	7分
	・1000人盆踊りとは何か		
	・1000人盆踊りを考えた(コ)理由		
3) まとめ	・1000人で盆踊りをする方法	2	2分
	企画を考える中で気が付いたこと	3	

問題 (4) ①

資料7の下線部コについて、「理由」以外の適切な言葉を、漢字2字で入れましょう。

<解答欄>

コ:

<出題のねらい>

文脈から似たような意味をもつ言葉に置き換えられるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…学んだことをまとめる

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

身の回りには、全く同じ意味を持つ言葉もあれば、似たような意味だけでもニュアンスが異なる言葉もあります。普段の授業において使用する言葉を意識付けるなど、豊かな言語感覚を身に付けられるようにしましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 次の条件①、②を満たして解答しているもの ①漢字2字である。 ②「理由」とほぼ同義である。	背景,所以(ゆえん),事由(じゆう),裏付,由来,切欠(きっかけ)
2	①を満たしているが、②を満たしていない	状況、視点、切口
3	②を満たしているが、①を満たしていない	必要性、訳
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
「理由」の類語の習得ができています。今後も自分の考えを伝える場面において、自分の考えの理由をのべるときに、場面に応じて、使い分けていきましょう。
問題文の条件に合わせて、漢字2文字での解答は、できています。「理由」の意味を辞書で引いて、類語を見つけて、調べてみましょう。
問題文の条件に合わせて、「理由」とほぼ同義のことばを見つけることは、できています。「理由」の意味を辞書で引いて、漢字2文字の類語を見つけて、調べてみましょう。
言葉には、違う漢字でも、同じ意味をもつものがあります。「理由」の意味を辞書で引いて、漢字2文字の類語を見つけて、調べてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(4) ②	記述式	7分	難

**資料6** 未来さんの発表メモ案

目次	内容	スライド	時間
1) テーマの発表	中学生の参加を増やして、A町祭りを盛り上げるためにできること 企画：1000人盆踊り	1	1分
2) 企画の発表	・1000人盆踊りとは何か ・1000人で盆踊りをする方法	なし 2	6分 3分
3) まとめ	企画を考える中で気が付いたこと	3	3分

「サ」 (発表権限についてのアドバイス)

**資料7** 未来さんの発表メモ案 (変更後)

目次	内容	スライド	時間
1) テーマの発表	中学生の参加を増やして、A町祭りを盛り上げるためにできること 企画：1000人盆踊り	1	1分
2) 企画の発表	・1000人盆踊りとは何か ・1000人盆踊りを考えた理由 ・1000人で盆踊りをする方法	なし なし 2	6分 7分 2分
3) まとめ	企画を考える中で気が付いたこと	3	2分

**問題 (4) ②**

「サ」について、未来さんの発表メモ案が、まなぶさんのアドバイスにより資料6から資料7へ変わりました。「サ」に入る適切なアドバイスを次の【条件】に応じて書きましょう。

**【条件】**

条件①: 「紹介」、「説得」の2つの言葉を使うこと  
条件②: 資料6にはどのような問題点があるか指摘すること  
条件③: 資料6をより伝わりやすくするためにどうすればよいか書いていること

**＜解答欄＞** サ:

＜出題のねらい＞

目的や場面に応じて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、その改善点について推敲できるかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「まとめあげる」…学んだことをまとめる

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

自分の考えを伝えるときは、相手にわかりやすく伝えることができるように、学びの調整をする場面を位置付け、相手を意識して、内容の中心と根拠を整理する視点で推敲しましょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 次の条件①、②、③を満たして解答しているもの条件 ① 「紹介」「説得」の2つの言葉を使っている。 ② 資料6での問題点を指摘している。 ③ 伝わりやすくするためにどうすればよいか書いている。	1000人盆踊りを紹介するだけになっているので、1000人盆踊りという企画を考えた理由も伝えたほうが聞いている人たちを説得できると思うよ。
2	①②を満たしているが、③を満たしていない	1000人盆踊りを紹介するだけになっているので、これだと説得できないかもしれないよ。
3	①③を満たしているが、②を満たしていない	1000人盆踊りという企画を考えた理由も紹介したほうが聞いている人たちを説得できると思うよ。
4	②③を満たしているが、①を満たしていない	1000人盆踊りを説明するだけになっているので、1000人盆踊りという企画を考えた理由も伝えたほうがよいと思うよ。
5	①を満たしているが、②③を満たしていない	考えた企画を紹介しているので、聞いている人を説得できると思った。
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
「1000人盆踊りを考えた理由」が発表メモ案に加わっていることを読み取り、目的や場面に応じて、変更前のスライドの問題点を指摘し、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について、考えることができます。
「1000人盆踊りを考えた理由」が発表メモ案に加わっていることを読み取り、目的や場面に応じて、変更前のスライドの問題点を指摘することができていますが、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について考えることができていません。伝わりやすいスライドにするにはどうするか考えてみましょう。
「1000人盆踊りを考えた理由」が発表メモ案に加わっていることを読み取り、目的や場面に応じて、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について考えることができますが、変更前のスライドの問題点を指摘することができていません。変更前のスライドの問題点が何かを整理して考えてみましょう。
「1000人盆踊りを考えた理由」が発表メモ案に加わっていることを読み取り、目的や場面に応じて、変更前のスライドの問題点を指摘し、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について、考えることができますが、指示された2つの言葉を使えていません。問われている条件について整理してみましょう。
指示された2つの言葉を使うことはできていますが、まなぶさんの適切なアドバイスとはなっていないようです。目的や場面に応じて、変更前のスライドの問題点を指摘し、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について、考えてみましょう。
目的や場面に応じて、変更前のスライドの問題点を指摘し、相手にわかりやすく伝えるための改善方法について、考えることができていないようです。まずは資料を比較し気付いたことを言葉にしてみるなど意識し、少しずつできるようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
中1年	(4) ③	短答式	4分	普通

資料8 企画の発表で使う読み原稿の一部

**「企画の発表」**

私たちは「1000人盆踊り」を提案します。  
 1000人盆踊りとは、文字通り1000人で踊る盆踊りです。  
 A町踊りは長く受け継がれてきた伝統行事のひとつです。その伝統あるA町踊りを大人気で踊ることができたら、それはA町踊りの文化の継承にもなります。  
 そして、1000人でA町踊りを踊ることができたら、これは町長や町民の方々のねがいにある「たくさんの方が祭りに参加する」ことにもなります。  
 さらに1000人で踊ることは、A町踊りの参加人数の新記録になり町全体の町おこしにもつながると考えます。

修正する文：

修正した文：

問題 (4) ③

資料8は、A町の町長や町民の方々にプレゼンテーションをするときに、企画の発表で使う読み原稿の一部と、1000人盆踊りを提案する理由を箇条書きにしたスライドです。企画の発表で使う読み原稿の一部と下線部(シ)の内容をふまえて、箇条書きの3つの文1～3のうち1つを選び、適切な箇条書きの1文に修正しましょう。

<出題のねらい>

提案する文章をわかりやすく、短い言葉にまとめて、相手に伝わりやすい内容にすることができるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…学んだことをまとめる、思考の課程を振り返る

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

伝えたい内容を明らかにしたら、文章にまとめるだけでなく、相手や場面に応じて、箇条書き内容の柱を立ててまとめるなど、様々な表現方法を生徒自身が選択して伝える場面を設定しましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 次の条件①、②を満たして解答しているもの ①修正する文①を正しく選択できている。 ②A町踊りの文化や、伝統を大切にしている。	① A町踊りの文化の継承 ① A町踊りの伝統を大切にする
2	①を満たしているが、②を満たしていない	① 私たちは1000人盆踊りを提案します ① たくさんの人が祭りに参加する(②と同義)
3	②を満たしているが、①を満たしていない	② A町踊りの文化の継承 ③ A町踊りの文化の継承
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
文章の内容を要約することができます。今後も、文章の中から、大事なことばを見つけて、内容を正しく読み取ることができるようにしましょう。
修正する部分は、捉えることができます。文章とスライドの内容を結び付けて、内容の中心をとらえ、短い言葉にまとめるようにしましょう。
修正する部分をどのように書き換えればよいかは、とらえています。修正する部分を明確にして、考えをまとめることができるようにしましょう。
文章とスライドの短い言葉を結び付けて読みます。伝えたい内容を見つけて、小見出しをつけて、整理してみましよう。